

The Office Action dated June 21, 2005

Japanese Patent Application No. 10-280456

整理番号: 3734017

発送番号: 219415

発送日: 平成17年 6月21日

1

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成10年 特許願 第280456号
起案日	平成17年 6月13日
特許庁審査官	石井 研一 3251 5K00
特許出願人代理人	渡部 敏彦 様
適用条文	第29条第2項、第29条の2

<<<< 最 後 >>>>

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

理由A

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

理由B

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願の日前の特許出願であって、その出願後に下記の特許出願の願書に最初に添付された明細書又は図面に記載された発明と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許出願に係る上記の発明をした者と同一ではなく、またこの出願の時において、その出願人が上記特許出願の出願人と同一でもないので、特許法第29条の2の規定により、特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

[理由Aについて]

請求項: 1-4

引用文献: 1-5, 8, 9

備考:

出願人は平成17年5月24日付けの手續補正書により、ビット誤りを検出する際に「データシンボルに周期的に挿入されたパイロットシンボルに対する前記

シンボル判定工程における複数のシンボルの判定結果と既知のパイロットシンボルとからビット誤りを検出する」点を請求項1-4に追加しているが、時間多重されたパイロット信号の判定結果からビット誤り率を検出することは一般的に行われていること（例えば、引用文献8の請求項6, 22, FIG. 22, 23B、引用文献9の請求項1）にすぎず、複数の信号の中から信頼度の高い信号を選択する際の基準となる誤り率の検出方法として、時間多重されたパイロット信号の判定結果からビット誤り率を検出する方法を採用することは、当業者が必要に応じて適宜選択し得たことである。

したがって、引用文献1-5, 8, 9に記載された発明に基いて、本願請求項1-4に係る発明のような構成とすることは、当業者が容易になし得たことである。

[理由Bについて]

請求項: 1-8

先の出願: 6

備考:

先の出願6（特に、図2）には、複数の受信信号についてそれぞれ伝搬路推定をした後、それぞれレイク合成をして、CRCによる誤り検出状況に応じて複数のレイク合成出力を選択することが記載されており、本願請求1-4に係る発明と先の出願6に記載の発明とに格別な差異はなく、両者は実質同一であると認められる。

なお、理由Aで上述したように、時間多重されたパイロット信号の判定結果からビット誤り率を検出することは一般的に行われていることにすぎず、かかる点は具体化する際の設計的微差にすぎないと認められる。

請求項: 1-8

先の出願: 7

備考:

先の出願7（特に、図2）には、複数の受信信号についてそれぞれ伝搬路推定をした後、それぞれレイク合成をして、CRCによる誤り検出状況に応じて複数のレイク合成出力を選択することが記載されており、本願請求1-4に係る発明と先の出願7に記載の発明とに格別な差異はなく、両者は実質同一であると認められる。

なお、理由Aで上述したように、時間多重されたパイロット信号の判定結果からビット誤り率を検出することは一般的に行われていることにすぎず、かかる点は具体化する際の設計的微差にすぎないと認められる。

1. 最初の拒絶理由通知に対する応答時の補正によって通知することが必要になった拒絶の理由のみを通知する拒絶理由通知である。

1. 国際公開第96／21295号パンフレット
2. 特開平07-131395号公報
3. 特開平06-334575号公報
4. 特開平07-058679号公報
5. 特開平03-155228号公報
6. 特願平10-57097号 (特開平11-261530号)
7. 特願平10-57096号 (特開平11-261470号)
8. 国際公開第96／42146号パンフレット
9. 特開平9-238094号公報

・調査した分野 I P C第7版 H04J 13／00 － 13／06
 H04B 1／69 － 1／713

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部デジタル通信
TEL 03 (3581) 1101
FAX 03 (3501) 0699